

フレやまぐち!

山口県からBリーグを目指す
プロバスケットボールチーム

山口ペイトリオッツ



世界で最も競技人口の多いスポーツがバスケットボールだと言われています。日本でも2016年にBリーグが開始されてから、バスケットボールの人気は一段と高まっています。そのBリーグ参戦を目指して2020年7月に設立されたのが「山口ペイトリオッツ」です。維新の地・山口から立ち上がったチームということで、志士たちのこころざしをバスケットで受け継ぐという意味を込めてペイトリオッツ(志士)と名付けられました。チームカラーは山口を象徴するオレンジ。ロゴマークにはナベヅルが配されています。設立初年度の2020-2021シーズンはアマチュアとして地域リーグ(中国・四国・九州リーグ)に参戦。5勝2敗の好成績でシーズンを総合3位で終え、地域リーグチャンピオンシップへ出場しました。同時に来シーズンからのBリーグ3部のB3リーグ参戦を目指して、昨年9月に資格第一次審査に合格。今年6月末に入会審査が行われ、ついにB3リーグへの参加が正式に決定します。チームはまだ設立して2年目ですが、当初からの目標だった5年以内にB1昇格の夢に一歩近づけました。2021年はオレンジの志士たちの活躍をみんなで応援しましょう。



知っ得ポイント

B3リーグとは

B3リーグとはその名の通りBリーグの第3部。B1・B2と違うのはプロとアマチュアが混在していること。条件が揃えば入れ替え戦でB2に昇格することができます。

チームデータ

- 法人名: 山口プロバスケットボール株式会社
- リーグ: 地域リーグ→B3リーグへ
- ホームタウン: 山口県全域
- 創立: 2020年7月
- 所在地: 山口県宇部市錦町8-4
- 公式サイト: <https://patriots.co.jp/>
- 種別: バスケットボール

文豪山口

山口をこよなく愛した
直木賞作家

古川 薫



山口県で初めて直木賞を受賞した作家が古川薫氏です。彼は1925年、下関市生まれ。6歳の時宇部市へ移り、その後宇部工業高等学校に入学しエンジニアになりますが、戦争に出兵することに。復員後、山口大学教育学部を経て1年間の教員生活をしたのち、山口新聞社に入社。編集局長まで務めたが1970年に退社し、文筆活動に入りました。1965年に同人誌「午後」に発表した『走狗(そうく)』が初めて直木賞の候補となり、以降『塞翁の虹』、『十三人の修羅』、『暗殺の森』、『幻のザビーネ』などの作品を経て、10回目の候補作となる下関市出身のオペラ歌手・藤原義江をモデルにした『漂泊者のアリア』で第104回直木賞を受賞しました。彼の作品は幕末の動乱期を生きた長州人たちを主人公にした歴史小説から、様々な分野に広がっていきました。また、2018年に92歳で亡くなるまで、山口県を拠点として創作活動を行ってきたことも大きな特徴です。地域の文化振興にも力をいれており、晩年は下関市にある下関市立近代先人顕彰館の名誉館長を務め、館長室は今も同館にあります。



下関市立近代先人顕彰館 (田中絹代ふんか館)

山口県下関市田中町5番7号
TEL:083-250-7666 FAX:083-231-0469

雑学ヤマグチ

山口県を代表する お茶ブランド 「小野茶」



お茶といえば静岡県や京都府・宇治市などが有名ですが、山口県にもお茶の名産地があります。それは宇部市を流れる厚東川の上流にある小野地区です。「小野茶」として山口県を代表するお茶のブランドになっています。始まりは古く江戸時代末期。長州藩の財政安定のためにお茶づくりが始まりました。以来お茶づくりは進み「西日本最大級の茶園」と言われるまでになりました。小野茶の特徴は甘みが強く、苦味・渋みもあり、味にコクがあること。色も黄色がかった山吹色をしています。これは小野地区が赤土が多く痩せた土地であることが要因です。5月には今年の1番茶が収穫されます。通信販売でも買えますので、気になる方はぜひ「小野茶」で検索してみてください。



広大な
小野茶の茶畑